

# エア・ウォーターの森による未来創造



エア・ウォーターの森

AIR WATER INNOVATION HUB

# エア・ウォーターの森とは



北海道が抱える社会課題を、各ステークホルダーのイノベーション要素を掛け合わせプロジェクト化⇒社会実装⇒事業化のプロセスを経て解決し、北海道に還元していきます。北海道のオープンイノベーションハブとして、エア・ウォーターの森は存在します。

# エア・ウォーターの森とは



エア・ウォーターの森  
AIR WATER INNOVATION HUB



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

国立大学法人  
北海道国立大学機構



室蘭工業大学  
MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY



北海道



札幌市  
City of Sapporo



産総研



エア・ウォーターの森  
AIR WATER INNOVATION HUB

大学  
高校

ファンド  
VC, 銀行

自治体

研究機関

スタート  
アップ

パートナー企業

地域住民

エア・  
ウォーター



STARTUP  
HOKKAIDO



HSFC  
HOKKAIDO STARTUP FUTURE CREATION  
DEVELOPMENT OF HUMAN CAPITAL NETWORK

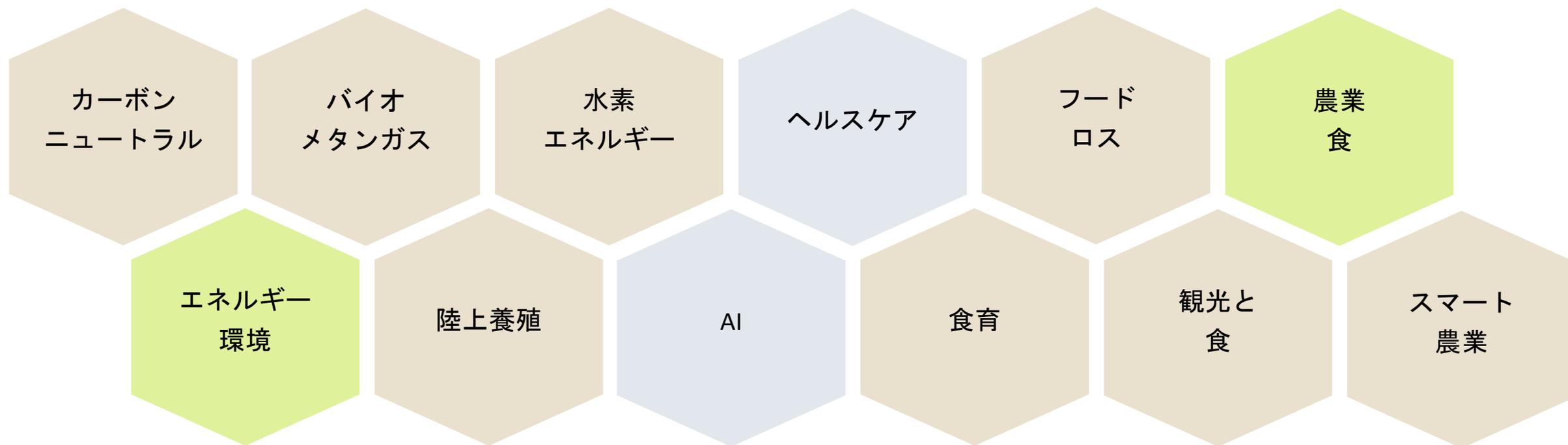


オープンイノベーションを行っていくため、エア・ウォーターの森にリソースを集約していきます。ステークホルダーの皆様が持つアイデア・シーズを、北海道発の新たなビジネスへ成長させることを目指して、北海道を盛り上げる取り組みをエア・ウォーターの森から発信致します。



## エア・ウォーターの森のキーワード

エア・ウォーターの森で、特に注力するキーワードは「エネルギー・環境」と「農業・食（健康）」の分野です。これらを軸に多様な観点から北海道の地域課題解決に挑戦します。



# エア・ウォーターの森の仲間づくり

## 【私たちの願い】

日本でも有数の課題先進国である北海道。この課題は、世界各地で点在する課題でもあります。北海道の課題が解決できれば、世界を救うことができるのではないのでしょうか。

北海道の課題は、世界の課題。そこに住み、生活を営む「わたしたち」。「わたしたち」が世界を変えるためにまず北海道を変えましょう。

そんな思いを込めて、このコンソーシアムを立ち上げます。



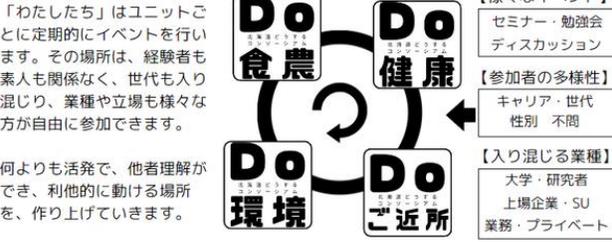
## 【新しい事業を創る】



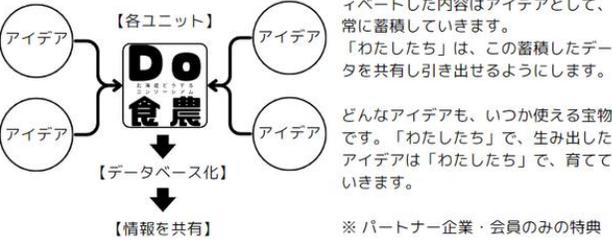
## 【組織としくみ】



## 【イベントでつながる】



## 【アイデアを蓄積する】



## 【対話が始まる場所にする】

また、拠点である『エア・ウォーターの森：3F』では、コミュニケーターを中心に、不定期でその時に提示されたテーマに沿って、ワークショップをしています。

こちらについては、その場におられる方に、自由に参加してもらい、自由に発言してもらおうと思います。(聴講も可です)

皆さんの熱い想いを、ホワイトボード一杯に埋めています。

【協力・協賛のお願い】  
同コンソーシアムは、パートナー企業様からの協力・協賛金、並びにエア・ウォーターグループからの出資にて運営しています。パートナー企業は、随時募集しております。ご興味のある企業様は、コミュニケーターまでお声がけ下さい。よろしくお願ひいたします。

エア・ウォーターの森  
info-awsouen@awi.co.jp

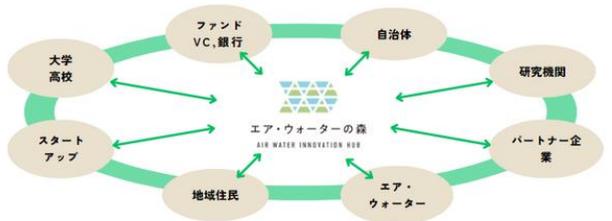
## エア・ウォーターの森は 北海道の課題解決に挑戦していきます

我々が生活する北海道。その北海道は日本の課題先進地域と言われております。課題先進地域とは、景気浮揚の恩恵を受けづらい地域で、人口減少・少子化・高齢化・都市一極化に伴う地方過疎化・低所得化・法人数減少と日本の多くの地域が現在迎えている諸課題多く抱えているという事です。

この状況は、放っておくと地方の没落していきませんが、逆を返せば課題解決することで、新しい事業発展や産業振興の可能性も秘めています。

エア・ウォーターの森は、北海道で生活をする皆様と共に、この社会課題の解決を手を取り合い進めていくために、設立されました。

## オープンイノベーションを 行っていくため、皆様の力が必要です



社会課題が難問であればあるほど、個人・個社・個団体だけでは難しいと言われております。なぜなら「個」が持つヒト・モノ・カネ・情報などのリソースやアイデアには限界があるからです。

私たちは、この「個」が持つリソースのハブとなり、コミュニティを形成、オープンイノベーションをもって課題解決を図ります。

## そして・・・課題解決事業は北海道から世界へ

課題先進地域：北海道で、社会課題解決された事業は、日本のみならず世界で同じ問題を抱えている地域にマッチングします。我々は、課題解決と共に、ソーシャルビジネスモデルを世界へ向けて発信していきます。

## 我々のパートナーとして、一緒に エア・ウォーターの森を育ててください

○ ゴールドパートナー 年会費：20万円  
対象：プロジェクトの立ち上げから、共に携わっていただける企業・団体様  
【特典（一部）】  
・ 同プロジェクトに携わるイベントやフライヤーなどに協力企業として掲載  
・ コワーキングエリア登録優待：月額1.2万円（通常1.5万円）  
+ 自社イベント開催権 ホール1日分  
・ HP・施設内口ご掲載 及び クローズドイベント等における優先招待 他

○ レギュラーパートナー 年会費：5万円  
対象：各コンソーシアムやイベントの趣旨に賛同いただける企業・団体様  
【特典（一部）】  
・ イベントへの優先招待  
・ HP・施設内口ご掲載

○ ローカルガバメントパートナー 年会費：2万円  
対象：地域課題提供や、解決するための実証フィールドをご提供いただける自治体様  
【特典（一部）】  
・ コワーキングエリア：名刺ご提示で利用可能（事前申請）  
・ 自治体PR：課題などの貼り出しや自治体イベントの実行  
・ HP・施設内口ご掲載

○ コラボレーションパートナー ※各パートナー協定（個別）に基づく  
対象：各地にある大学やインキュベーション施設などの提携先  
【内容】  
・ 協働プロジェクト発足・共同開発・大学イベントとの連携など（大学向け）  
・ 合同イベントの開催・施設間コワーキング相互提携（インキュベーション施設）  
・ HP・施設内口ご掲載（共通）

皆様から頂きました協賛金については、各コミュニティ運営、イベントやワークショップ、スタートアップ育成やシーズ発掘など、北海道の地域社会解決のため、エア・ウォーターの森に関わる皆さまのために、使用・還元させていただきます。ご協力よろしくお願い致します。

関係人口を増やすとともに、ここからオープンイノベーションを行っていくため、ヒトとのつながりや企業とのつながりが重要です。私たちはエア・ウォーターの森に集うヒトや一緒に事業開発を行っていく企業に対し様々なメニューを用意していきます。

VISION

## EVIDENCE BASED POLICY MAKING

エビデンスに基づく柔軟で迅速な改革の推進

MISSION 01

教育

*Education*

地域に貢献できる  
理工系人材の育成

ACTION

- 足腰の強い理工系人材、特に「専門×情報」人材を輩出します。
- 大学院博士前期課程への進学率を50%にします。
- 優秀な博士課程学生を育成・支援します。

MISSION 02

研究

*Research*

確かな  
「世界水準」の研究力

ACTION

- 強みの研究・確かな研究力を輝かせます。
- 世界水準の教育・研究コミュニティをつくります。
- 若手研究者を応援します。

MISSION 03

共創

*Co-creation*

北海道を世界水準の  
価値創造空間へ

ACTION

- 北海道のカーボンニュートラルに貢献します。
- 北海道のMONOづくり・価値づくりに貢献します。
- 積極的に情報発信します。

2Fオフィスには

<室蘭工業大学>

<北海道国立大学機構：オープンイノベーションセンター>

にご入居いただき、各大学との協創事業を推進していきます。

### 未来の北海道を共創する オープンイノベーションセンター

#### 知の社会実装を推進するオープンイノベーションセンター

三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図るため、オープンイノベーションセンター（通称：ACE）を設置します。

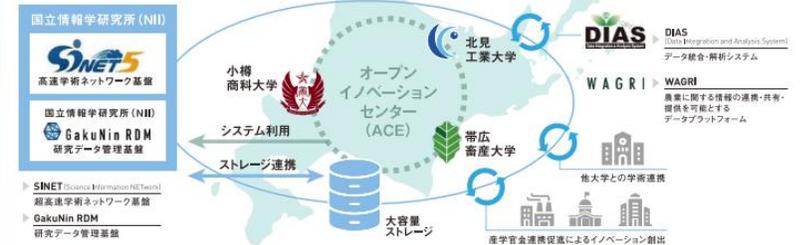
オープンイノベーションセンターは、産学官金の期待に応えた未来起点オープンイノベーションを推進します。

- ▶ ACE が中核となり企業 / 現場からのバックキャスト型課題設定を行い現場やモデル環境での実証試験を充実させます。
- ▶ 北海道地域が抱える課題に対して生産者から大学・企業等までが一体となって共同研究を行える体制を構築します。
- ▶ 研究情報を統合管理・活用・発信し知識集約型社会を見据えた分野融合研究による「知の社会実装」を実現します。

▼  
産学官金連携促進によるイノベーション創出

#### 三大学の研究シーズ集約・発信システム構築に向けた取り組み

- ▶ 国立情報学研究所 (NII) の ICT 基盤を活かした、三大学情報共有システムを構築
- ▶ 研究情報を統合管理し、研究力向上と技術の社会実装に向けた活用・発信
- ▶ ICT と人的交流の融合によるシームレスな共創



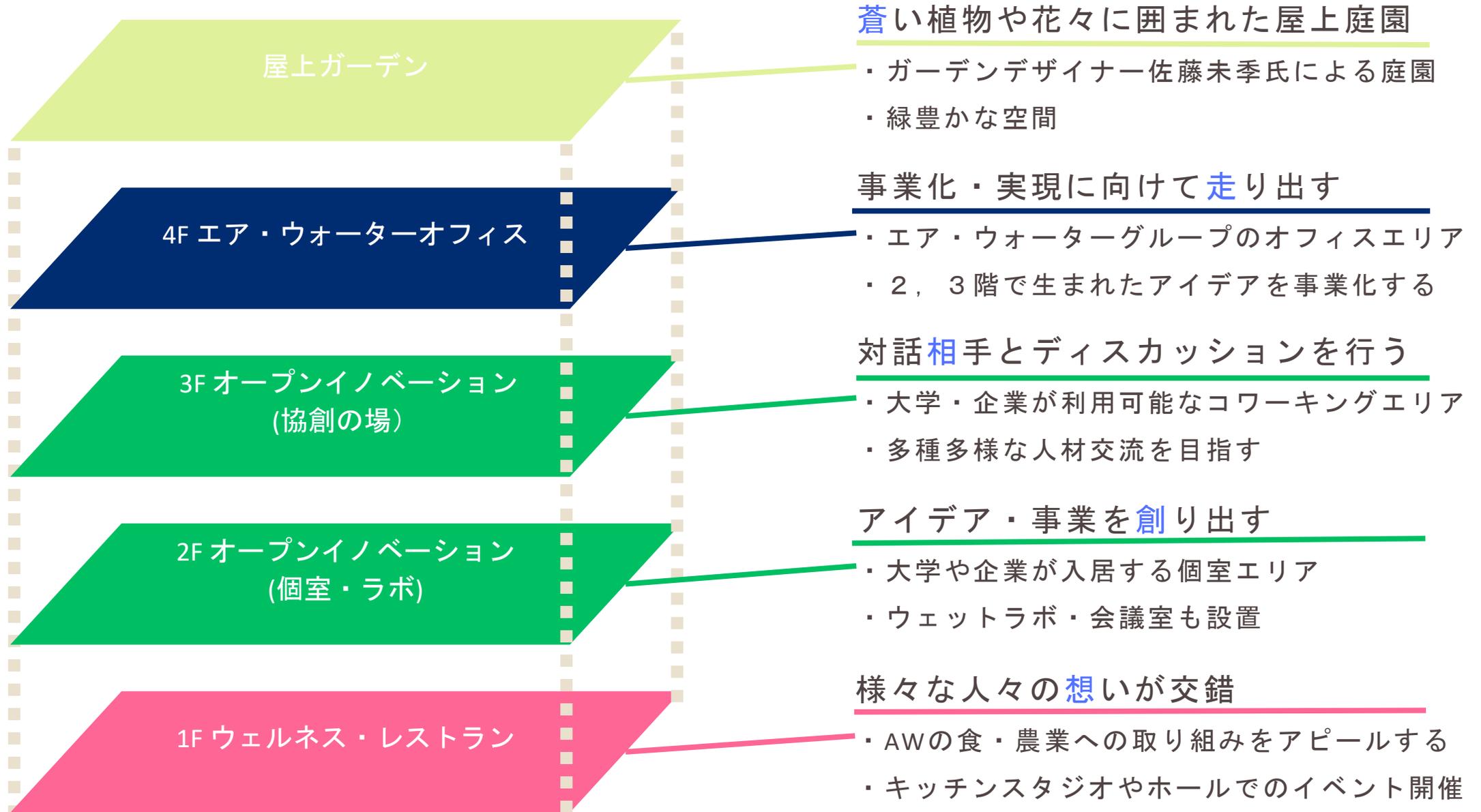
#### DIAS・SINET 活用研究構想

- ▶ DIAS カメラ利用による、中小河川等モニタリングポータル開設準備
- ▶ DIAS 等を利用した被災地における情報共有プラットフォーム開設
- ▶ 気象・海象や観光資源情報を閲覧できるポータル開設
- ▶ 観測網データや気象データの融合解析による、自然現象の発生予測モデルの構築

▼  
知識集約型社会を見据えたイノベーションの創発を加速

# 施設概要

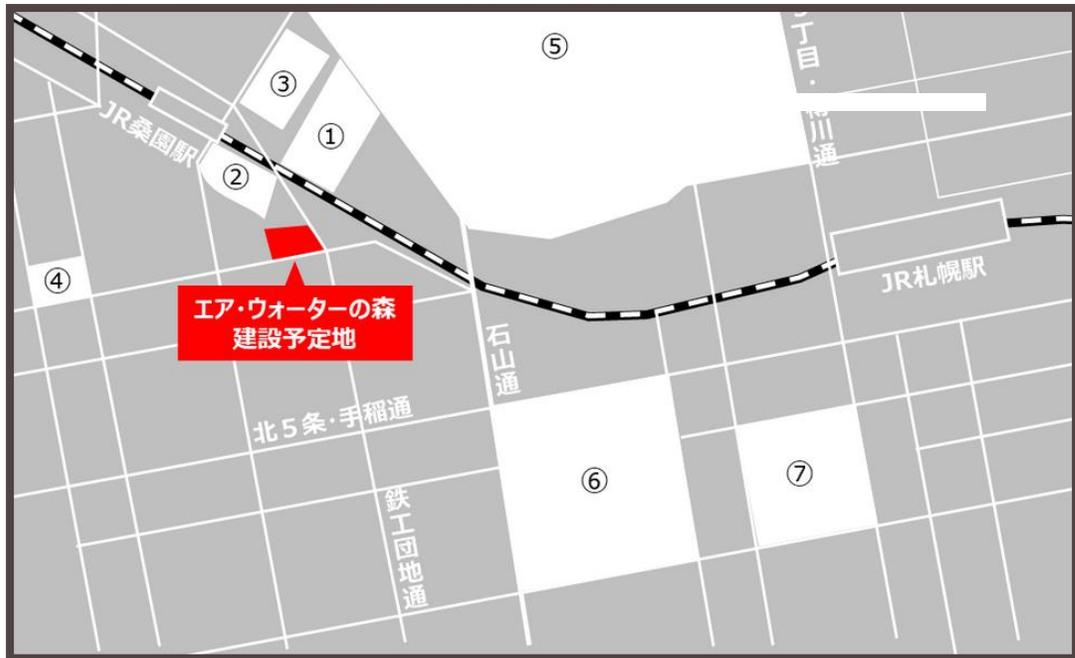
桑園(Souen)エア・ウォーターの森では5つのSouをコンセプトとしたフロア構成



# アクセス

札幌市中央区北8条西13丁目28-21

JR桑園駅より徒歩5分程度



① 札幌市立大学 桑園キャンパス

② イオン札幌桑園店

③ 市立札幌病院

④ 札幌市立桑園小学校

⑤ 北海道大学

⑥ 北海道大学 植物園

⑦ 北海道庁

# イメージ



# 新事業取組事例

## 小水力発電事業

○8月30日にAW北海道(株)×(株)森とみずのちから×(一社)CoIU設立基金で水力発電事業及び地域共創事業を推進する協定を締結

### 各社役割

- ・AW北海道(株)  
地域、自治体とのパートナーシップ体制の構築
- ・(株)森とみずのちから  
水力発電案件の事前調査と発電所開発に伴うコンサルティング等
- ・3者共同で行う次項  
発電所のオフテイク検討、地域共創ソリューションの検討、地産地消スキームの検討



### 小水力電力発電概要

#### 対象とする規模

- ・小水力 (1,000kW-10,000kW程度)
- ・ミニ水力 (100kW-1,000kW程度)
- ・マイクロ水力 (100kW程度以下)

#### 発電可能場所

- ・中小河川
- ・農業用水路
- ・上下水道施設
- ・その他水流のある場所

#### 生態系への影響

- ・生態系への負担が少ない
- ・減水区間が短い
- ・魚の遡上などにも影響を与えにくい

〈水力発電の区分〉	
分類	規模
大水力	10,000kW程度以上
中水力	10,000kW-100,000kW程度
小水力	1,000kW-10,000kW程度
ミニ水力	100kW程度-1,000kW程度
マイクロ水力	100kW程度以下

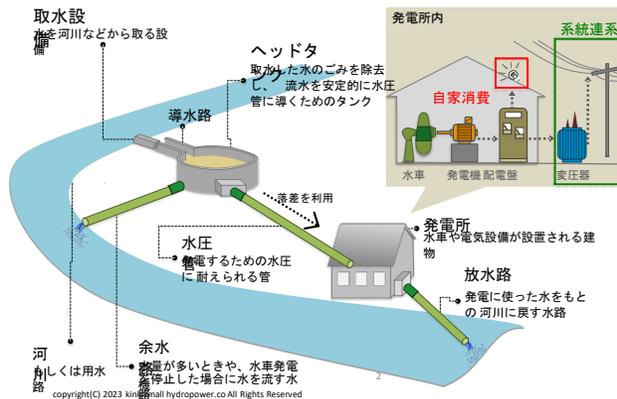


久手川覚名橋小水力発電所・発電機



岐阜県飛騨市某所発電所

### 発電所概要



### 小水力発電所

#### AW

- ・設備のメンテナンス
- ・売電事業

#### (株)森とみずのちから

- ・候補地選定
- ・発電ノウハウ
- ・工事

#### 協力自治体

- ・地域一体の事業への発展

### ① 売電

電力供給

売電料金

### 電力会社



### ② オンサイト

通常の電気料金より  
安く電力供給

電気料金の削減

### 地方創生に資する 公共施設等



- ・コミュニティプラザ、道の駅、産直市場といった人の集まる空間
- ・豊かな水資源を活かした養殖施設や蒸留所の併設
- ・観光施設

地球の恵みを、社会の望みに。



所在地：札幌市中央区北8条西13丁目28-21 AWの森-4階

エア・ウォーターの森

<https://airwater-souen.jp>



ふるさと応援Hプログラム

<https://airwater-hprogram.jp>

